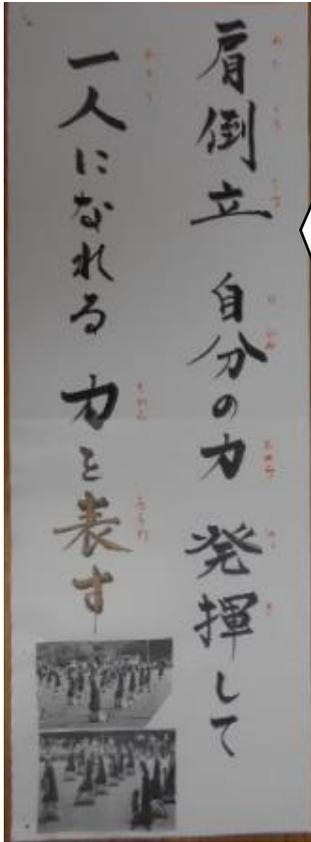
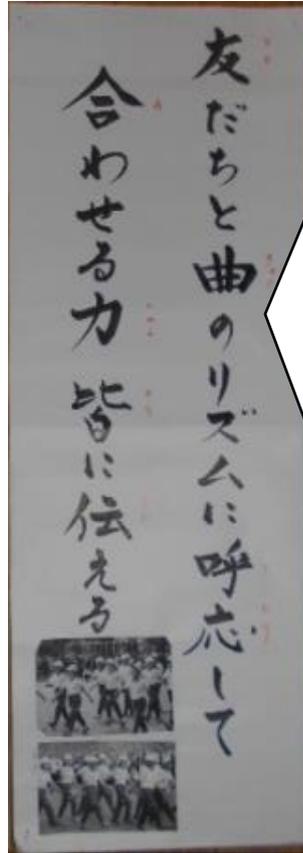


駒の子短歌

No.29 令和2年10月2日(金) 佐久市立望月小学校



五、六年生の表現運動のテーマは「私たちの成長」でした。感染防止の意味もあった一人技では「一人になれる力」を表現しました。肩倒立がまっすぐ空に向かって伸びた様子からは、一人一人の努力や自立する力を感じました。



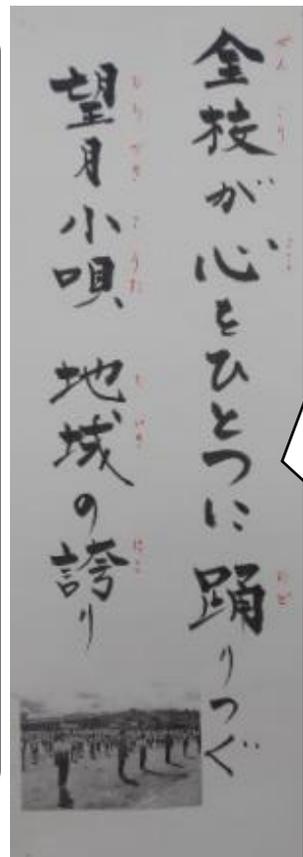
行進では「合わせる力」を表現しました。曲のリズムに合わせて、足の動き、姿勢、手の振りなどを友だちと揃えて歩きます。隊と隊が十字に交差したり、カーブで交差したりする技にも挑戦しました。六年生児童の作文を一部紹介します。

練習が地味で嫌になりました。ですが、森田先生に「五年生は六年生のためにがんばっている」と聞いた時から、五年生がその気持ちでがんばっているのを見て、その気持ちに応えられるような気持ちでがんばりました。



みんなに「すごい!」と言ってもらえるような表現運動ができてとても嬉しかったです。最後はちょっと泣いてしまいました。こんなに拍手してもらって嬉しかったのは初めてだったと思います。ずっと頭の中に残る思い出になったと思います。

(六年生児童の感想から抜粋)



運動会最後の種目は「望月小唄」です。望月小唄保存会の皆様の演奏と歌に合わせて全校児童が踊りました。歌詞や曲に込められた思いを感じ、心をひとつに踊りついでいきたいと思います。

望月小唄は地域の誇りです。